

公募型プロポーザル方式による募集にかかる優先交渉権者との随意契約について

業務の名称	なにわ筋線南海新難波駅部及びパークス通りシールドT技術協力業務
業務概要	<p>技術協力対象事業</p> <p>ア 開削工事 地下ラーメン駅舎構造物</p> <p>(ア) 北東立坑 鉄筋コンクリート構造 延長 34.2m、幅員 23.7m、深さ GL-50.1m～GL-63.8m 主な仮設工種（発注時想定）：鋼製地中連続壁工、地盤改良工、切梁支保工</p> <p>(イ) 北西立坑 鉄筋コンクリート構造 延長 31.0m、幅員 38.0m、深さ GL-50.5m～GL-63.9m 主な仮設工種（発注時想定）：鋼製地中連続壁工、地盤改良工、切梁支保工</p> <p>(ウ) 南東立坑 鉄筋コンクリート構造 延長 34.2m、幅員 23.7m、深さ GL-49.9m～GL-64.0m 主な仮設工種（発注時想定）：鋼製地中連続壁工、地盤改良工、切梁支保工</p> <p>(エ) 南西立坑 鉄筋コンクリート構造 延長 34.2m、幅員 23.7m、深さ GL-49.6m～GL-63.7m 主な仮設工種（発注時想定）：鋼製地中連続壁工、地盤改良工、切梁支保工</p> <p>イ シールド工事※1</p> <p>(ア) 駅部シールドトンネル トンネル：外径 9.6m（合成セグメント）、延長 268.8m（上り線 144.9m、下り線 123.9m） 主な工種：シールド土工、シールド仮設備工事、計測工</p> <p>(イ) パークス通りシールドトンネル トンネル：外径 7.1m（RCおよび合成セグメント）、延長 1,450.8m（下り線 718.9m、上り線 731.9m） 主な工種：シールド土工、シールド仮設備工事、計測工</p> <p>※1 本工事は、(イ)から(ア)へのトンネル断面の拡大有（外径 7.1mから外径 9.6m）</p> <p>ウ その他工事（予定） 南海新難波駅部：支障物撤去復旧工、地下埋設物処理工、地下埋設物移設及び撤去復旧工、上下別ホーム工（有効長 下り線 185.0m、上り線 181.0m）、地下道新設工、施工ヤード整備、道路復旧工 他</p> <p>業務内容 技術情報等の提出、設計の確認、施工計画の作成、全体工事費の算出、打合せ協議等、報告書の作成</p>
契約年月日	2020年11月20日

契約相手方	大林・南海辰村・鉄建・佐藤・森本特定建設工事共同企業体 (代表構成員) 株式会社大林組 大阪本店
契約相手方の事務所所在地	大阪市北区中之島三丁目6番32号 株式会社大林組大阪本店内
契約金額	10,978,000円(税込み)
予定価格	11,722,700円(税込み)
随意契約によることとした理由	<p>なにわ筋線南海新難波駅部及びパークス通りシールドT土木工事は、阪神高速道路橋脚の両側で施工する、大深度(道路面-約50m)立坑を築造し、また、狭隘な大深度立坑を挟む、直径差2.5mの拡大が必要なシールド工事を行う非常に難易度の高い工事である。</p> <p>このため、民間施工会社の持つ高度な技術力を活用しながら最適な仕様を設定する「技術提案・交渉方式」を適用することとしたものであり、その結果、事業目的達成のための施工方法等において、最重要課題である狭隘な立坑内でのシールド機の拡大手順の提案が、同程度の規模の実績に基づいた詳細かつ具体的なものになっているなどの確かつ実現性の高い技術提案を行った大林・南海辰村・鉄建・佐藤・森本特定建設工事共同企業体を優先交渉権者として選定したものである。</p> <p>本業務は、なにわ筋線南海新難波駅部及びパークス通りシールドT土木工事に先だって技術提案内容を反映した設計を実施するための技術協力業務であり、技術提案者である大林・南海辰村・鉄建・佐藤・森本特定建設工事共同企業体が業務の履行が可能な唯一の者であるため、随意契約を行う。</p>
業務場所	大阪市浪速区難波中1丁目地内 他
履行期間	2020年11月21日 から 2021年6月30日 まで